

北海道こんぶフォーラム in札幌

～コンブの歴史と文化を考える集い

2009年9月12日(土)13:00～16:30 佐藤水産本店3階文化ホール
(札幌市中央区北4条西3丁目交洋ビル3F)

主催:北海道こんぶフォーラム実行委員会・特定非営利活動法人 北海道こんぶ研究会
産学官連携支援協議会 平成21年度産学官連携支援事業

古くより価値ある海産物として利用されてきた昆布について、北海道での採取と利用にまつわる文化史・漁業史を介します。また、生産量の増加と安定に欠かせない技術になっているコンブ養殖技術が生まれるに至った歴史と苦労を解説し、養殖技術が昆布生産者を支え、消費流通の面からも欠かせない技術になっていることについて紹介します。これらの紹介とみなさんとの議論によって、北海道のコンブにこれから必要なことを考えていきます。

13:00～ 開会挨拶～はじめに

四ツ倉 典滋 (北海道こんぶ研究会 理事長)

北海道こんぶ研究会の紹介～フォーラム開催にあたって

秋野 秀樹 (北海道こんぶ研究会 事務局長)

13:30～ おべんきょうタイム：こんぶを知ろう

コンブ採取と利用の文化史 講師：会田 理人 (北海道開拓記念館)

コンブ養殖の技術的発展 講師：長谷川 由雄 (元 北海道区水産研究所)

ひとやすみ

展示コーナー：パネル、コンブ展示

15:20～ おはなしタイム：みんなで考えよう

パネラー：会田 理人、長谷川 由雄、四ツ倉 典滋 進行：秋野 秀樹

16:00～ 閉会挨拶

川下 浩一 (北海道こんぶ研究会 副理事長)

講師・報告者紹介

長谷川 由雄 (はせがわ よしお)

1919年 北海道美唄市生まれ。水産庁北海道区水産研究所 元所長。有用海藻であるコンブ類の生態学の研究に力を注ぎ、20数年にわたる研究で、ほぼ全貌を明らかにした。その成果は沿岸漁業の発展に多大な寄与をした。また、品種改良を企図したコンブ類の屋内培養方法を応用することから生まれたコンブの促成栽培技術によって、製品化まで2年かかるところを約1年に短縮できるコンブの画期的な養殖法に成功した。



会田 理人 (あいだ よしと)

1974年 長野県岡谷市生まれ。2003年より北海道開拓記念館に勤務。学芸部学芸第二課所属。専門は漁業史を中心とする産業史。海産物の製造加工技術と流通の歴史解明のため、道内外の漁村・博物館を訪ねて漁具・聞き取り・文献資料と格闘中。



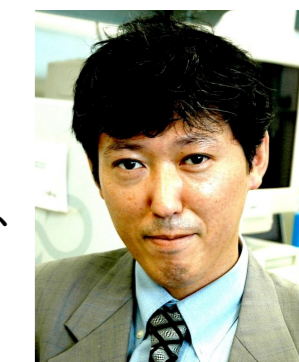
四ツ倉 典滋 (よつくら のりしげ)

1967年 愛知県生まれ。特定非営利活動法人北海道こんぶ研究会理事長。北海道大学北方生物圏フィールド科学センター(忍路臨海実験所) 助教。コンブの系統分類の研究を通じ、北海道のこんぶの現状に危機感をもち、2007年4月、こんぶ研究会を設立。2008年、同会を法人化し理事長となる。



川下 浩一 (かわした こういち)

1967年 北海道倶知安町生まれ。特定非営利活動法人北海道こんぶ研究会の副理事長。道内政治経済誌(クオリティ)の経済担当記者を経て、2005年文部科学省派遣産学官連携コーディネーターとして北海道大学に派遣され、ここでの四ツ倉助教との出会いが北海道こんぶ研究会を産む。2008年より(財)北海道中小企業総合支援センターで地域力連携拠点事業・応援コーディネーターを務め、北海道企業の技術開発支援などを行っている。



秋野 秀樹 (あきの ひでき)

1974年 北海道函館市生まれ。特定非営利活動法人北海道こんぶ研究会理事・事務局長。北海道立中央水産試験場(余市町)研究職員。コンブの生態や磯焼けの研究を担当。四ツ倉理事長の考えに共鳴し、こんぶ研究会に加入。仕事も趣味もコンブ漬けの生活を送る。

